

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和 2 年度第 1 回小規模多機能型居宅介護松ぼっくり運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和 2 年 11 月 27 日（金曜日）
開会 午後 5 時 30 分～ 閉会 午後 6 時 3 分
2. 場 所 小規模多機能型居宅介護松ぼっくり
3. 出席者 遠藤春夫 三上長治 永野やすえ 中村成子
（委員総数 5 名中 4 名出席）

松ぼっくり
吉田所長 大松澤主任

社会福祉協議会
山本次長 曾根課長

欠席者 欠員 1 名

1. 開 会

2. 協 議 （要旨）

① 利用状況

- ・ 現在 12 名登録。女性 8 名、男性 5 名。
- ・ 要支援 1 0 名 要支援 2 0 名 要介護 1 7 名
要介護 2 2 名 要介護 3 2 名 要介護 4 0 名
要介護 5 1 名
- ・ 認知症加算取得者は 5 名。急に帰ると言ったり、大声を出したりする。職員が間に入りながら対応。小規模多機能型居宅介護は施設でも自宅でも同じ職員がケアするので、穏やか過ごしていただける。
- ・ 定員 25 名だが 12 名の登録に留まっている。7 月に比べて 5 名減。コロナも要因のひとつ。利用を控えることにより、機能低下を招いて、医療の必要性が大きくなり利用中止となった方がいた。
- ・ 2 名がグループホームに入所。介護者が県外在住、独居に限界が来ていた。グループホームにも偶然空きがあった。

- ・登録者が少なくなったことで、密にならない通所時間を過ごせている。経営には影響大。
- ・10月の実績は、訪問が延べ10名で428回。加算取得には月200回の訪問が必要。通いが8名で255回、泊まりが7名で71回となっている。職員体制の都合により週4日を宿泊可能日としている。
- ・新規相談は3件。コロナの影響で少ないかもしれない。

② 運営状況

- ・宮城県の取り計らいにより感染症認定看護師を招聘し、新型コロナウイルス感染対策内部研修を行った。
- ・11/18、塩竈市による実施指導あり。3年に1度実施。特段の指摘はなかった。

③ ケース報告

- ・①利用状況で報告したとおり。

④ その他

- ・12月、近隣にグループホーム開所。連携を取りながら進めたい。
- ・年末年始は通常どおり営業予定。

(三上委員)

コロナの影響により、利用者は施設内に閉じこもりなのか？外を歩かないと身体が弱くなってしまう心配がある。

(大松澤主任)

なかなか外を歩ける身体状況の方は少ない。足腰が丈夫でも呼吸器に疾患があったりと難しい。

(三上委員)

自分ですら弱くなっているのを感じる。また、外に出ないストレスも生じていると思う。

(大松澤主任)

帰りの送迎時に、紅葉を観て帰るなどの機会は設けたが、その程度のストレス解消だ。

(吉田所長)

足踏みなど軽い体操に留まっている。やれることも限られている。

(永野委員)

登録者数 12 名とのことだが、経営は大丈夫なのか？

(吉田所長)

厳しい指摘が本部からも来ている。対応するスタッフは揃っているので、ここにマッチする利用者を見つけるだけだ。

(永野委員)

これまでの状況を知っているだけに心配な数字だ。また、町内でコロナ感染を恐れて、デイにもショートにも通わなくなった方がいる。身体機能の低下が心配。

(中村委員)

市役所の窓口でもコロナの影響を感じることもある。社交的な生活を多くっていた方が、さまざまな制限を受けて精神的に落ち込み、認知機能が低下しているとのことで、家族が介護認定を申請しに来所された。これまで想定できなかったことが起きている。目に見えないものなのも精神的なダメージを与えている。この状況でやれることを探していくのも、自分たちを含めて大切である。

(吉田所長)

介護申請は増えているのか？

(中村委員)

数的に大きく増えているわけではないが、コロナをきっかけにという事例が聞こえてくる。

(永野委員)

担当地区の方から、コロナが騒がれた頃に、「私、コロナになったかもしれない」と連絡がきた。介護の必要な母親をショートステイに預けるようケアマネジャーに相談してと助言した。ただ、コロナ禍で新規利用を受け入れる施設がなかなか見つからなかった。

(中村委員)

最近ではインフルエンザの時期ともなり、コロナかインフルかで判断が難しくなっているようだ。

(永野委員)

地域の病院も熱があるという理由だけで受診を断っている。

(遠藤委員)

初めての参加で理解が難しかったが、改めて大変な仕事をしていると感じた。松陽台は空き地に新しい家がどんどん立っている。自分の町内会が 540 世帯、もう一つが 220 世帯ある。高齢化は顕著で、このような施設の重要さを感じる。今年、町内会はこれまでと全く違った活動をせざるを得なかった。にぎやかな行事で交流を図るのがスタイルだったが、それができず、環境整備くらいのものであった。高齢者がますます増える状況で、皆さんの仕事に改めて感謝申し上げたい。

(山本次長)

私どもが運営している施設でコロナ感染が判明し、地域の方に大変ご心配をおかけした。インフルエンザ予防から面会制限を継続していたところ、どこかに隙があったのか発生してしまった。今回の発生を今後を活かしながら、運営する全ての事業所において、感染予防対策を継続したい。また、地域の皆様と連携を図りながら、改めて協力をお願いしたい。

次回 令和 3 年 1 月 28 日 (木) 17:30～